



すびっこ 美術館

みぎわ幼稚園

立田 匠くん



芋掘り

親子で行った芋掘りの絵を描いてくれたのは、匠くん(6歳)。重たかったけれど一人で頑張って抜いたサツマイモは、いろいろな形のものが袋いっぱい採れたそうです。「土で汚れたけど、楽しかった!」と笑顔で話してくれました。

ぼくの夢 わたしの夢



夢は…。 “大工”

白方小学校6年 ●中山 雅友

ぼくには、3年生のときから決めている夢があります。それは大工になることです。そのきっかけは父親です。父は、ぼくが4年生のときに病気で亡くなりました。

父の仕事は土木関係で、道路や建物を造っていました。ぼくは自転車小屋の作り方や障子の張り替え方などを自然と父親から学びました。そんな中で、大工になりたいという夢が芽生えました。

大工になるためには勉強を地道にし、人とコミュニケーションがとれるようにならなければいけません。しかし今のままの自分では、人にすぐ頼ったり面倒くさがったりしてしまいます。そんなとき、ぼくはよく父が言っていた言葉を思い出します。それは、「面倒くさいからやる」という言葉です。この言葉は、“何事にも諦めないことが大切だ”という意味だとぼくは思います。この言葉を胸に、大工という夢に向かって頑張りたいと思います。

わが家の子育てノート

瀬川 理恵

平成27年10月11日、3350グラムの元気な女の子が誕生しました。

お腹の中にいるときから、自然に関する名前を付けたいねと話していた、季節を感じられる「楓」という名に決めていました。

予定日を10過ぎてもなかなか陣痛が来る気配がなく、パパの誕生日の13日までゆっくりしているのかな…と思っていました。生まれる前日に、友人と子どもたちが遊びに来ていました。一緒に遊びたくなったのか、その日の夜に陣痛が来て、翌日の昼に元気な産声を上げて生まれました。私にとって初めての子育ては、思っていた以上にたくさん悩み、涙したこともあります。

楓はなかなかハイハイをせず、私たちの手を取り歩きたがっていました。周りからはハイハイをしてから立ったほうがいいよと言われてたり、育児の本やインターネットを読んでは、何でできないのだろう…と思ったりしたこともありました。そんなときに、私の同級生の先輩ママや保育士の友人から、いろいろな話を聞き、アドバイスをもらい、楓のやりたいように、楓のペースでやらせてあげよう

という考えに変わっていききました。

そのかいもあり、ゆっ

くりではありますが10か月になったころ、ハイハイができるようになり、なんと10か月後半には歩けるようになりました。今では大好きな滑り台も1人で上って、滑ることができます。

昨年の11月から私が職場に復帰したため、楓も保育園に通うようになりました。初めの1、2日は夜泣きがひどく、楓なりに頑張っているんだなと感じましたが、今では友達もでき、外で遊んだり、大好きな絵本を読んでもらったりと、楽しんでいるようです。毎日新しいことを覚えてくれるので、私たちも今日は何ができたようになったかなと楽しみができました。これまで大きな病気もせず、すくすくと元気に育ってくれて、楓の笑顔をとくさん見ることができ、パパとママはとっても幸せです。私たちのところに生まれてきてくれて本当にありがとう。これからもその笑顔と友達を大切に、たくさん笑って過ごしていこうね。



ぜひご利用ください!

村公式アプリ 「こちら東海村」

村公式子育て応援アプリ 「のびのび子育て帳」

村公式フェイスブック 「東海村ご当地レポーター」

村公式ツイッター 「東海村」

